

防災気象情報の改善について

令和8年4月

奈良地方気象台・津地方気象台

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

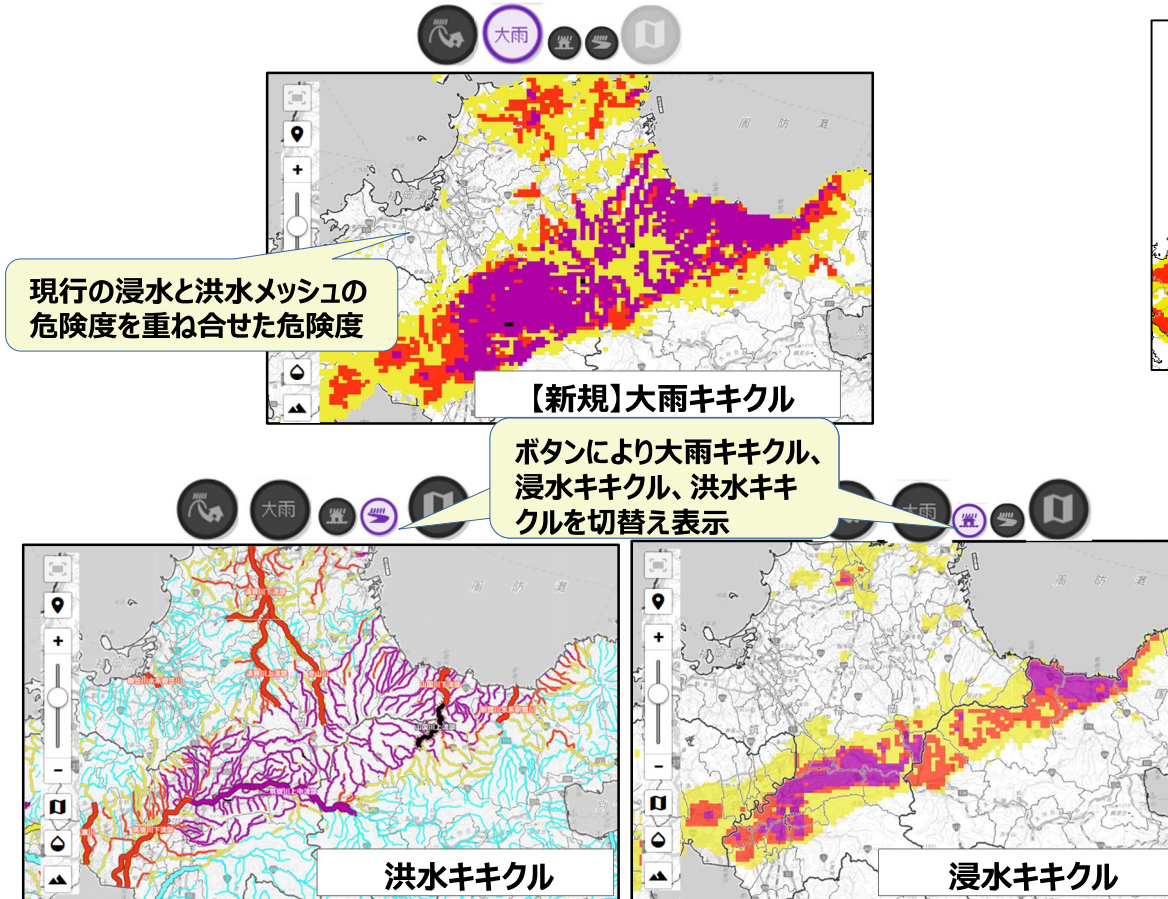
河川氾濫等に関する情報の主な変更点

- **気象庁**は、**河川事務所または都道府県と共同**で、洪水予報河川を対象に河川氾濫等に関する情報の発表を行う。
- **河川事務所または都道府県**は、洪水予報河川以外（水位周知河川やその他河川）を対象に河川氾濫等に関する情報の発表を行う。
- **気象庁**は、洪水予報河川以外の河川を対象に大雨に関する情報の発表を行う。

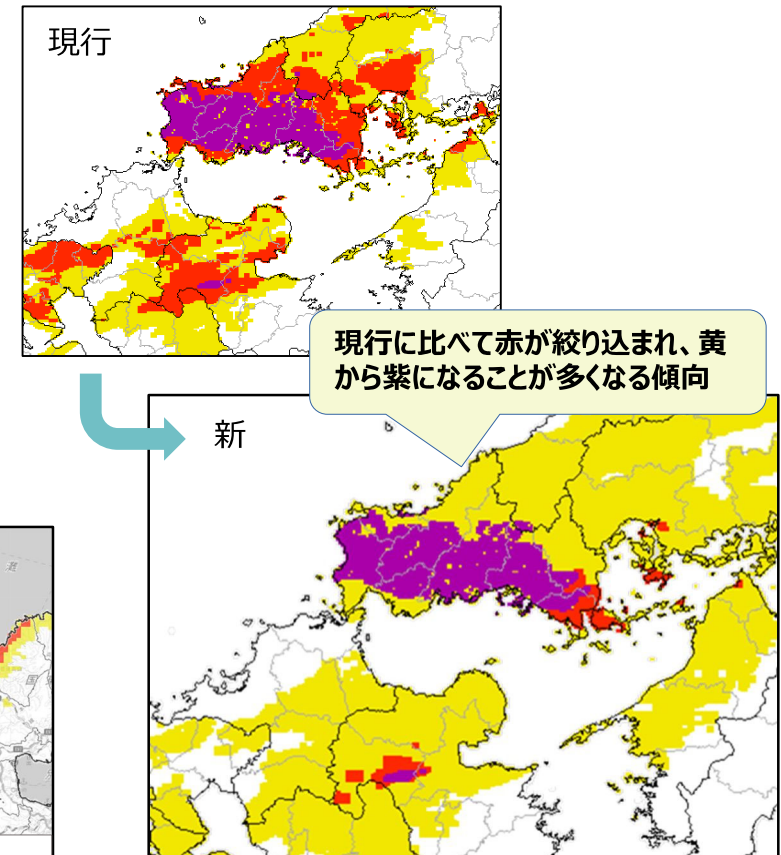
河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	その他河川	
河川数	約400河川	約1,800河川	約18,000河川	-
発表主体	河川事務所または都道府県と気象庁	河川事務所または都道府県	河川事務所または都道府県	気象庁
発表単位	河川ごと	河川ごと	河川ごと	市町村ごと
対象とする主な現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫	内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）	水位（実測）	確認情報等	表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報 レベル5 氾濫発生情報	レベル5 氾濫発生情報	レベル5 大雨特別警報
	4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 氾濫危険情報	レベル4 大雨危険警報
	3	レベル3 氾濫警報	レベル3 氾濫警戒情報	レベル3 大雨警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 氾濫注意情報	レベル2 大雨注意報
	1	早期注意情報		早期注意情報

- 大雨や土砂災害に関する情報が発表された際に、**危険度が高まっている地域を確認**することができます。
- 大雨に関する情報が対象としている**河川の氾濫の危険度（洪水キキクル）**や**短時間強雨による浸水害の危険度（浸水キキクル）**を重ねて**大雨キキクル**として新規表示します。
- **洪水キキクルと浸水キキクルについて切替え表示**で、洪水災害・浸水害それぞれの危険度の確認が可能です。
- 土砂キキクルについては、判定基準の変更に伴い、現行に比べて**警戒（赤）が絞り込まれるとともに、注意（黄）から危険（紫）になることが多くなる**傾向がありますので、表示の特性の変化にご留意ください。

大雨キキクル（イメージ）

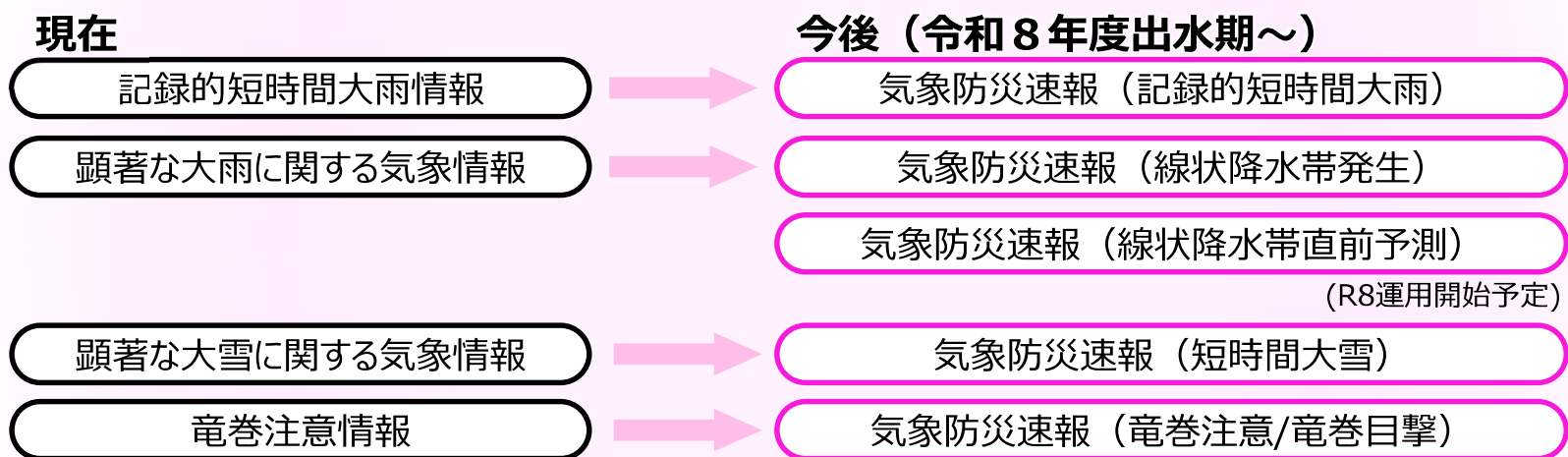


土砂キキクルの特性変化（イメージ）

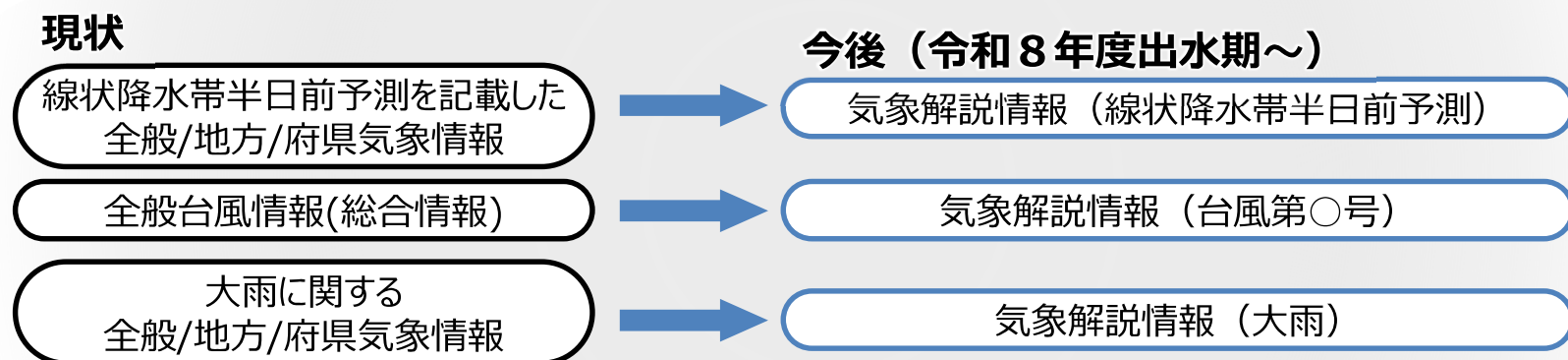


- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表**。なお、**線状降水帯発生直前予測**も新たに運用開始。
- 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する「気象解説情報」も適宜に発表。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)



気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)



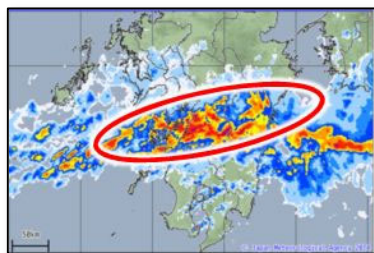
観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施しています。

- ・ **令和8年から、2～3時間前を目標にした予測情報を提供予定**
- ・ **令和11年から、半日前に市町村単位で線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式の情報を提供予定**
情報のリードタイムを伸ばし、また、情報の発表の対象地域を狭めることで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていきます。

「迫りくる危険から直ちに避難」→情報のリードタイムをのばす

発生情報

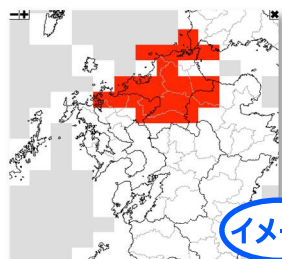
令和3年	線状降水帯の発生をお知らせする情報
令和5年	最大 30分 程度前倒し



線状降水帯の雨域を楕円で表示

直前予測

令和8年
2～3時間前を目標に
予測情報を発表



イメージ

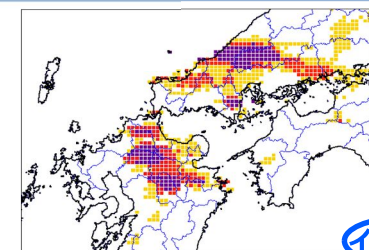
補足情報として、線状降水帯による大雨の恐れがある大まかな領域を
図情報で表示(予定)

半日前予測

令和4年	地方単位 で予測
令和6年	府県単位 で予測

↓ さらに**対象地域を狭める**

令和11年
市町村単位で把握可能な危険度分布
形式の情報を提供



イメージ

線状降水帯発生の可能性が
把握可能な分布形式で表示(予定)

線状降水帯に関する情報の位置付け

